目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
学校教育課	障害者(児）福祉の推進	5580	各種団体補助金	手をつなぐ育成会補助金	総合	１－２
学校教育課	学校教育の充実	5551	教育委員会管理費	教育委員会経常管理費	簡易	3
学校教育課	学校教育の充実	5562	事務局管理費	事務局経常管理費	簡易	4
学校教育課	学校教育の充実	5565	事務局管理費	小中学校情報機器整備事業費	簡易	5
学校教育課	学校教育の充実	5567	事務局管理費	児童・生徒夢づくり事業費	総合	６－７
学校教育課	学校教育の充実	5610	教職員住宅管理費	教職員住宅経常管理費	簡易	8
学校教育課	学校教育の充実	5622	小学校共通管理費	小学校共通経常管理費	簡易	9
学校教育課	学校教育の充実	5623	小学校共通管理費	小学校共通臨時管理費	簡易	１０
学校教育課	学校教育の充実	5630	各小学校管理費	南小学校経常管理費	簡易	１１
学校教育課	学校教育の充実	5632	各小学校管理費	大野小学校経常管理費	簡易	１２
学校教育課	学校教育の充実	5633	各小学校管理費	鶴喜小学校経常管理費	簡易	１３
学校教育課	学校教育の充実	5634	各小学校管理費	鶴喜小学校臨時管理費	簡易	１４
学校教育課	学校教育の充実	5635	各小学校管理費	香々美小学校経常管理費	簡易	１５
学校教育課	学校教育の充実	5636	各小学校管理費	香々美小学校臨時管理費	簡易	１６
学校教育課	学校教育の充実	5637	各小学校管理費	香北小学校経常管理費	簡易	１７
学校教育課	学校教育の充実	5638	各小学校管理費	奥津小学校経常管理費	簡易	１８
学校教育課	学校教育の充実	5639	各小学校管理費	上齋原小学校経常管理費	簡易	１９
学校教育課	学校教育の充実	5641	各小学校管理費	富小学校経常管理費	簡易	２０
学校教育課	学校教育の充実	5642	各小学校管理費	奥津小学校臨時管理費	簡易	２１
学校教育課	学校教育の充実	5644	各小学校管理費	大野小学校臨時管理費	簡易	２２
学校教育課	学校教育の充実	5645	スクールバス管理費	スクールバス経常管理費	簡易	２３
学校教育課	学校教育の充実	5646	スクールバス管理費	スクールバス臨時管理費	簡易	２４
学校教育課	学校教育の充実	5655	鶴喜小学校里山整備事業費	鶴喜小学校里山整備事業費	簡易	２５
学校教育課	学校教育の充実	5671	小学校共通教育振興管理費	小学校支援教員配置事業	総合	２６－２７
学校教育課	学校教育の充実	5672	各小学校教育振興管理費	南小学校教育振興経常管理費	簡易	２８
学校教育課	学校教育の充実	5674	各小学校教育振興管理費	大野小学校教育振興経常管理費	簡易	２９
学校教育課	学校教育の充実	5676	各小学校教育振興管理費	鶴喜小学校教育振興経常管理費	簡易	３０
学校教育課	学校教育の充実	5678	各小学校教育振興管理費	香々美小学校教育振興経常管理費	簡易	３１
学校教育課	学校教育の充実	5680	各小学校教育振興管理費	香北小学校教育振興経常管理費	簡易	３２
学校教育課	学校教育の充実	5682	各小学校教育振興管理費	奥津小学校教育振興経常管理費	簡易	３３
学校教育課	学校教育の充実	5686	各小学校教育振興管理費	富小学校教育振興経常管理費	簡易	３４
学校教育課	学校教育の充実	5690	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（給食費）	簡易	３５
学校教育課	学校教育の充実	5691	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（学用品費）	簡易	３６
学校教育課	学校教育の充実	5700	鏡野町教育研修事業費	鏡野町教育研修事業費	総合	３７－３８
学校教育課	学校教育の充実	5708	情報機器整備事業費	情報機器整備事業費	簡易	３９
学校教育課	学校教育の充実	5780	各中学校管理費	鏡野中学校経常管理費	簡易	４０
学校教育課	学校教育の充実	5781	各中学校管理費	鏡野中学校臨時管理費	簡易	４１
学校教育課	学校教育の充実	5790	スクールバス管理費	スクールバス経常管理費	簡易	４２
学校教育課	学校教育の充実	5821	中学校共通教育振興管理費	中学校支援教員配置事業	総合	４３－４４
学校教育課	学校教育の充実	5825	中学校教育振興管理費	鏡野中学校教育振興経常管理費	簡易	４５
学校教育課	学校教育の充実	5830	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（給食費）	簡易	４６
学校教育課	学校教育の充実	5831	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（学用品費）	簡易	４７
学校教育課	学校教育の充実	5835	外国青年招致事業費	外国青年招致事業費	簡易	４８
学校教育課	学校教育の充実	5855	情報機器整備事業費	情報機器整備事業費	簡易	４９
学校教育課	学校教育の充実	6655	鏡野学校給食共同調理場管理費	鏡野学校給食共同調理場経常管理費	簡易	５０
学校教育課	学校教育の充実	6656	鏡野学校給食共同調理場管理費	鏡野学校給食共同調理場臨時管理費	簡易	５１
学校教育課	学校教育の充実	5764	小学校施設整備事業費	小学校統合整備事業費	簡易	５２

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　総合　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		手をつなぐ育成会補助金	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05580	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	15	障害者(児)福祉の推進	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則 鏡野町手をつなぐ育成会会則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 (　　年度～　　年度) □ 単年度のみ	・(社)岡山県手をつなぐ育成会に入会し、会の運営及び会員(100名)の研修活動費、特別支援学級(13学級)を助成する。 ・障害を持つ者の育成と特別支援教育の啓発を行なう。	鏡野町の障害をもつ者の自立支援と特別支援教育についての啓発や発展に努めることを目的とする。 平成17年12月9日より実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	特別支援学級 →	ア 特別支援学級数	学級	見込	11	11	15	15	15
				実績	11	13	15		
イ	→	イ 特別支援学級の児童、生徒数	人	見込	56	56	78	77	77
				実績	56	62	80		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	障害のある児童、生徒に自立してもらう →	ア 自立している障害のある児童・生徒数	人	目標	56	55	78	77	77
				実績	56	62	80		
				達成率	100.0%	112.7%	102.6%		103.9%
イ	特別支援教育について啓発する →	イ 啓発している学校数	人	目標	6	6	8	8	8
				実績	6	6	8		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	総会、研修会、講演会等の開催 →	ア 開催回数	回	目標	2	3	3	3	3
				実績	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ	特別支援学級への補助金の支払い →	イ 補助金支払い回数	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	→	ウ		目標					
				実績					
				達成率					

⇓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 01	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	教育総務費	事務局費	03	01	手をつなぐ育成会補助金	05580

予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	400	400	400	400	400		一般財源	400	400	400	400	400	
合計	400	400	400	400	400	0	合計(A)	400	400	400	400	400	0
財源名称							従事正職員人数	1	1	1			
							延べ業務事務時間	20	20	20			
							人件費計(千円)(B)	67	67	68	0	0	1
	最終予算額	400 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)	467	467	468	400	400	1

1枚目

事業番号	05580	事務事業名	手をつなぐ育成会補助金	所管課名	学校教育課

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
特別支援学級の生徒児童数は増加している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
鏡野町教育委員会の方針として、できるだけ特別支援教育に力を注いでいく。
③この事務事業に対して、関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
特に、要望として鏡野町としてできるだけ、単町費を組んででも力を入れていただきたいとの要望が多数ある。

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由説明	特別な支援を要する児童生徒の自立支援と特別支援教育についての啓発は、障害者（児）福祉の推進の政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性（この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由説明	特別支援教育に関することを町が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性（事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由説明	特別支援教育に関することを町が行うことは妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地（成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？）		
	□ 向上余地がある ☑ 目標水準に達している	理由説明	成果は目標水準に達している。
	⑤廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？）		
	□ 影響がない ☑ 影響がある	理由説明	方法・手段は適正である。
	⑥方法・手段の改善余地（やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？）		
	□ 改善余地がある ☑ 改善余地がない	理由説明	方法・手段は適正である。
効率性評価	⑦事業費の削減余地（成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	事業費は必要最小限であり、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地（成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	人件費は必要最小限であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地（事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由説明	受益者は事業の対象者である特別支援学級の児童生徒であり、適正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括（振り返り・成果・反省点）・ 評価結果の根拠
A 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	補助金は、特別支援学級の児童・生徒の自立支援になっている。
B 有効性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	
C 効率性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	
D 公平性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	

③今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		今後の改革改善案
□ 拡充	☑ 現状維持	「手をつなぐ育成会」の母体が大きいため、学校教育の部分でしか携わることができない。
□ 目的再設定	□ 改善	
□ 休止・廃止	□ 事業完了	

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題
政策体系から考察すると、障害者（児）福祉の推進にあるため、福祉部門が事務事業を管轄しても良いと思われる。

④担当課としての事業の方針

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・事業完了の場合は記入不要）

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		教育委員会経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05551	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	黒瀬　豊
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	・毎月の定例会と随時の臨時会を開催し、招集通知、資料作成、会場設営、会議出席、説明・報告（審議・承認・決定）、議事録作成、などを行う。 ・県などで開催される教育委員研修会に同行する。	各町村で実施していた事業を町村合併後引き継いで実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	児童生徒 →	ア	児童生徒数	人	見込	972	972	959	943	943
					実績	972	974	966		
イ	→	イ		人	見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	心豊かな教育を推進する →	ア	発達段階に応じた教育を受けた児童生徒数	人	目標	972	972	959	943	943
					実績	972	974	966		
					達成率	100.0%	100.2%	100.7%		102.4%
イ	→	イ			目標					
					実績					
					達成率	#VALUE!	#VALUE!			

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教育委員会の開催 →	ア	教育委員会開催数	回	目標	12	12	12	12	12
					実績	15	14	13		
					達成率	125.0%	116.7%	108.3%		108.3%
イ	→	イ			目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	01	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		教育総務費		教育委員会費		01	02	教育委員会経常管理費	05551

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	154	104	103	103	103	−1	一般財源	30	35	28	103	103	−7
合計	154	104	103	103	103	−1	合計(A)	30	35	28	103	103	−7

財源名称				従事正職員人数	2	1	1	1	1	
				延べ業務事務時間	20	10	10	10	10	
				人件費計(千円)(B)	67	34	34	34	34	1
	最終予算額	103 千円	予算執行率 27.1%	トータルコスト(A+B)	97	69	62	137	137	−6

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	教育委員会の経費であり、適正に支出等が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		事務局経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05562	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	教育委員会事務局、教育委員会の条例、規則の改廃、町内小学校・中学校の運営管理に関する事務	平成17年3月合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	小中学校	→	ア	小中学校数(実働)	校	見込	8	8	**8**	5	5
						実績	8	8	**8**		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	適切な管理運営を行う	→	ア	適切な管理運営が行われた小中学校数	校	目標	8	8	**8**	5	5
						実績	8	8	**8**		
						達成率	100.0%	100.0%	**100.0%**		160.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率	#VALUE!	#VALUE!	**#VALUE!**		#VALUE!

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	学校教育課会計年度任用職員の給与支払い	→	ア	賃金支払い回数	回	目標	12	12	**12**	12	12
						実績	12	12	**12**		
						達成率	100.0%	100.0%	**100.0%**		100.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 01	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	教育総務費	事務局費	01	03	事務局経常管理費	05562

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金						#VALUE!
県支出金						
町債						
その他特財						
一般財源	20,409	21,331	**19,159**	20,173	20,173	−2,172
合計	20,409	21,331	**19,159**	20,173	20,173	−2,172

決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			**7,871**			7,871
県支出金						
町債						
その他特財						
一般財源	19,788	20,016	**9,807**	20,173	20,173	−10,209
合計(A)	19,788	20,016	**17,678**	20,173	20,173	−2,338
従事正職員人数	7	7	**4**	4	4	−3
延べ業務事務時間	12,600	12,600	**12,600**	12,600	12,600	
人件費計(千円)(B)	42,122	42,210	**43,105**	42,361	42,361	895
トータルコスト(A+B)	61,910	62,226	**60,783**	62,534	62,534	−1,443

財源名称	
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
最終予算額	19,159 千円
予算執行率	92.2%

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	町内小中学校の運営管理に関する事務がスムーズに行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		小中学校情報機器整備事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05565	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	学校情報機器の管理・運用に関すること GIGAスクールの推進に関すること	令和2年度より、GIGAスクールが推進されており、ハード的な整備が必要になることに加え、以前から導入している校務用PCなどの管理

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員	→	ア　教職員数	人	見込	173	180	180	169	169
					実績	173	180	180		
イ	児童生徒	→	イ　児童生徒数	人	見込	962	972	974	947	947
					実績	972	974	966		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	学級数分必要な機材がある	→	ア　担任の校務用PC所持率	%	目標	100	100	100	100	100
					実績	100	100	100		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	安全にインターネットを使用できる	→	イ　タブレット用フィルターの導入率	%	目標			100	100	100
					実績			100		
					達成率			100.0%		100.0%

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	校務用PCの修理	→	ア　修理した校務用PCの数	台	目標	10	10	10	10	5
					実績	10	12	9		
					達成率	100.0%	120.0%	90.0%		180.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	01	02				
	一般会計	教育費	教育総務費	事務局費	01	06	小中学校情報機器整備事業費	05565

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金			2,108			2,108
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	5,266	2,149	6,504	8,012	8,012	4,355	一般財源	4,773	2,148	4,349	8,012	8,012	2,201
合計	5,266	2,149	6,504	8,012	8,012	4,355	合計(A)	4,773	2,148	6,457	8,012	8,012	4,309

財源名称		従事正職員人数	1	1	1	2	2	
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	延べ業務事務時間	1	1	30	50	50	29
		人件費計(千円)(B)	3	3	103	168	168	99
	最終予算額　6,504 千円　予算執行率　99.2%	トータルコスト(A+B)	4,776	2,151	6,560	8,180	8,180	4,408

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校情報機器の管理・運用に関する経費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　総合　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		児童・生徒夢づくり事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05567	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	中学校との調整、委託契約締結、講演会の開催、来年度の事業内容の決定、当初予算の確保	子どもたちに夢をもって育ってほしいという思いから平成26年度から始めた。（町長提案）

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鏡野中学校生徒	ア 鏡野中学校生徒数	人	見込	313	313	313	321	321
				実績	313	313	348		
イ		イ		見込					
				実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	夢をもってもらう	ア 夢をもつことができた生徒数	人	目標	313	313	313	321	321
				実績	313	313	348		
				達成率	100.0%	100.0%	111.2%		108.4%
イ		イ		目標					
				実績					
				達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	講演会等開催	ア 講演会等開催回数	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	0	1	1		
				達成率	0.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		イ		目標					
				実績					
				達成率					
ウ		ウ		目標					
				実績					
				達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 01	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	教育総務費	事務局費	01	08	児童・生徒夢づくり事業費	05567

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	643	149	100	100	100	−49	一般財源	391	100	100	100	100	
合計	643	149	100	100	100	−49	合計(A)	391	100	100	100	100	0
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	10	10	10	10	10	
							人件費計(千円)(B)	33	34	34	34	34	1
	最終予算額	100 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)	424	134	134	134	134	1

1枚目

事業番号	05567	事務事業名	児童・生徒夢づくり事業費	所管課名	学校教育課

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
開始時より、鏡野中学校生徒を対象としており、変化していない。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
生徒が将来などへの夢をもつことに繋がる講師等を選定してきた。
③この事務事業に対して、関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
特になし

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由説明	生徒の健全育成につながるものであり、政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性（この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由説明	生徒に将来などへの夢をもってもらうために行っているものであり、町が行うことが妥当である。
	③対象・意図の妥当性（事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由説明	対象は町立中学校生徒であり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地（成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？）		
	☑ 向上余地がある □ 目標水準に達している	理由説明	講師招へいだけなく、生徒自ら事業を提案し実現する形にすることで、更に成果の向上が望める。
	⑤廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？）		
	□ 影響がない ☑ 影響がある	理由説明	生徒に将来などへの夢をもってもらうために行っているものであり、廃止することで成果に影響がある。
	⑥方法・手段の改善余地（やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？）		
	☑ 改善余地がある □ 改善余地がない	理由説明	講師招へいだけなく、生徒自ら事業を提案し実現する形にすることで、更に成果の向上が望める。
効率性評価	⑦事業費の削減余地（成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	事業費は必要最低限となっている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地（成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	人件費は必要最低限となっている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地（事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由説明	受益者は鏡野中学校生徒全員であり、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括（振り返り・成果・反省点）・ 評価結果の根拠
A 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	講師招へいだけなく、生徒自ら事業を提案し実現する形にすることで、更に成果の向上が望める。
B 有効性	□ 適切	☑ 見直しの余地あり	
C 効率性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	
D 公平性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	

③今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		今後の改革改善案
□ 拡充	□ 現状維持	講師招へいだけなく、生徒自ら事業を提案し実現する形にすることで、更に成果の向上が望める
□ 目的再設定	☑ 改善	
□ 休止・廃止	□ 事業完了	

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題
特に無し

④担当課としての事業の方針

		コスト 削減	コスト 維持	コスト 増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・事業完了の場合は記入不要）

2枚目

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		教職員住宅経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05610	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町教職員宿舎条例（平成17年鏡野町条例第109号）		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	年度当初に今年度の家賃を決定する。 毎月10日ごろ、家賃の納付書を送付、併せて滞納状況を確認し、滞納があれば電話等により確認を行う。また、必要があれば施設の修繕を行う。 施設老朽化にともなう令和4年3月までの廃止を入居者へ周知。	平成17年3月の町村合併より（合併前の奥津町、上齋原村、富村での事業を引き継いだ）

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員のうち教職員宿舎の入居者	→	ア 教職員の教職員宿舎入居者数	人	見込	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
イ	教職員以外の入居者	→	イ 教職員以外の入居世帯数	世帯	見込	2	2	0	0	0
					実績	2	2	0		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員に安定した住宅を与え、職務に専念し教育効果を最高に発揮してもらう	→	ア 安定した住宅を与えられた教職員数	人	目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ	教職員が使用していない宿舎を一般に利用してもらう	→	イ 一般の利用世帯数	世帯	目標	2	2	0	0	0
					実績	2	2	0		
					達成率	100.0%	100.0%	#DIV/0!		#DIV/0!

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	家賃の請求	→	ア 家賃請求回数	回	目標	12	12	0	0	0
					実績	12	12	0		
					達成率	100.0%	100.0%	#DIV/0!		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	01	03				
	一般会計	教育費	教育総務費	教職員住宅費	01	01	教職員住宅経常管理費	05610

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財	538	185	120	120	120	−65	その他特財	538	65		120	120	−65
一般財源							一般財源			100			100
合計	538	185	120	120	120	−65	合計(A)	538	65	100	120	120	35

財源名称				従事正職員人数	1	1	1	1	1	
	教職員住宅使用料			延べ業務事務時間	10	10	10	10	10	
				人件費計(千円)(B)	33	34	34	34	34	1
	最終予算額	120 千円	予算執行率 83.3%	トータルコスト(A+B)	571	99	134	154	154	36

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	老朽化に伴い取り壊しの計画が必要。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		小学校共通経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05622	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	小学校校務員の賃金等の支払い、児童生徒の健康診断等の実施、化学物質検査、消火設備の点検・修理、教職員の健康診断、各種負担金の支払い等	平成17年3月合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	小学校児童	→	ア	小学校数	校	見込	7	7	7	5	5
						実績	7	7	7		
イ		→	イ	小学校児童数	人	見込	659	657	634	615	615
						実績	659	657	621		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	安心・安全な教育環境を確保する	→	ア	安心・安全な教育環境を確保できた学校数	校	目標	7	7	7	5	5
						実績	7	7	7		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		140.0%
イ		→	イ	安心・安全な教育環境で過ごせた児童数	人	目標	659	657	634	615	615
						実績	659	657	621		
						達成率	100.0%	100.0%	97.9%		101.0%

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	校務員等の賃金支払い	→	ア	賃金支払い回数	回	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	児童の健康診断	→	イ	健康診断受診者数	人	目標	656	657	622	615	615
						実績	656	657	621		
						達成率	100.0%	100.0%	99.8%		101.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	01	03	小学校共通経常管理費	05622

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金			2,329			2,329
県支出金	1,542	807	757	279	279	−50	県支出金	2,263	815	112	279	279	−703
町　債							町　債						
その他特財			50	50	50	50	その他特財			20	50	50	20
一般財源	32,245	35,259	26,313	22,690	23,168	−8,946	一般財源	29,896	33,664	23,927	22,690	23,168	−9,737
合計	33,787	36,066	27,120	23,019	23,497	−8,946	合計(A)	32,159	34,479	26,388	23,019	23,497	−8,091

財源名称				従事正職員人数	4	4	4	4	4	
	小1グッドスタート支援事業			延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
	放課後学習サポート事業費委託金、小学校施設使用料			人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			トータルコスト(A+B)	32,828	35,149	27,072	23,691	24,169	−8,077
	最終予算額	27,120 千円	予算執行率 97.3%							

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校経常の事務が適正に行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		小学校共通臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05623	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　年度～　年度） ☑　単年度のみ	学校等における感染症対策支援事業及び防犯カメラ設置事業	令和4年度学校保健特別対策事業費補助金 令和4年度岡山県子ども見守り防犯カメラ設置支援事業補助金

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町内小中学校	→	ア	児童生徒	人	見込			969		
						実績			969		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	感染症対策予防	→	ア	児童生徒	人	目標			969		
						実績			969		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ	安全対策	→	イ	児童	人	目標			621		
						実績			621		
						達成率			100.0%		#DIV/0!

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	感染症対策予防	→	ア	児童生徒	人	目標			969		
						実績			969		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ	安全対策	→	イ	児童	人	目標			621		
						実績			621		
						達成率			100.0%		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		01	04	小学校共通臨時管理費	05623

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金			4,830			4,830
県支出金			30			30	県支出金			1,102			1,102
町　債							町　債						
その他特財			3,150			3,150	その他特財						
一般財源			13,753			13,753	一般財源			6,658			6,658
合計	0	0	16,933	0	0	16,933	合計(A)	0	0	12,590	0	0	12,590

財源名称				従事正職員人数			1			1
	学校保健特別対策事業費補助金			延べ業務事務時間			200			200
	岡山県子ども見守り防犯カメラ設置支援事業補助金			人件費計(千円)(B)	0	0	684	0	0	684
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金									
	最終予算額　16,933 千円	予算執行率	74.3%	トータルコスト(A+B)			13,274			13,274

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	感染症対策及び防犯カメラの設置により児童生徒の環境安全が守られた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		南小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05630	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	南小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	南小学校児童	→	ア	南小学校児童数	人	見込	276	267	245	240	240
						実績	276	264	244		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	276	267	245	240	240
						実績	276	264	244		
						達成率	100.0%	98.9%	99.6%		101.7%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	01	南小学校経常管理費	05630

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	10,865	12,134	14,017	14,045	14,045	1,883	一般財源	10,450	10,997	13,407	14,045	14,045	2,410
合計	10,865	12,134	14,017	14,045	14,045	1,883	合計(A)	10,450	10,997	13,407	14,045	14,045	2,410
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	14,017 千円	予算執行率	95.6%			トータルコスト(A+B)	11,119	11,667	14,091	14,717	14,717	2,424

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		大野小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05632	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	大野小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	大野小学校児童	→	ア　大野小学校児童数	人	見込	166	175	180	187	187
					実績	166	172	181		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	166	175	180	187	187
					実績	166	172	181		
					達成率	100.0%	98.3%	100.6%		96.8%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア　予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ　支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		02	03	大野小学校経常管理費	05632

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	7,210	7,489	9,238	9,559	9,559	1,749	一般財源	7,081	6,441	8,881	9,559	9,559	2,440
合計	7,210	7,489	9,238	9,559	9,559	1,749	合計(A)	7,081	6,441	8,881	9,559	9,559	2,440
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	9,238 千円	予算執行率	96.1%			トータルコスト(A+B)	7,750	7,111	9,565	10,231	10,231	2,454

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鶴喜小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05633	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	鶴喜小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鶴喜小学校児童	→	ア　鶴喜小学校児童数	人	見込	92	95	89	89	89
					実績	92	98	89		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	92	95	89	89	89
					実績	92	98	89		
					達成率	100.0%	103.2%	100.0%		100.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア　予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ　支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	05	鶴喜小学校経常管理費	05633

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	5,794	6,028	9,270	8,442	8,442	3,242	一般財源	5,301	5,826	8,890	8,442	8,442	3,064
合計	5,794	6,028	9,270	8,442	8,442	3,242	合計(A)	5,301	5,826	8,890	8,442	8,442	3,064
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	9,270 千円	予算執行率	95.9%			トータルコスト(A+B)	5,970	6,496	9,574	9,114	9,114	3,078

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鶴喜小学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05634	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	黒瀬　豊
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	令和5年度実施の鶴喜小学校大規模改修工事に伴う、実施設計委託料 （令和3年度から令和4年度へ全額を繰り越したもの）	令和5年度の鶴喜小学校大規模改修工事に伴う、実施設計委託料

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鶴喜小学校児童	→	ア	鶴喜小学校児童	人	見込	92	95	89	89	89
						実績	92	98	89		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	92	95	89	89	89
						実績	92	98	89		
						達成率	100.0%	103.2%	100.0%		100.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア		→	ア			目標					
						実績					
						達成率					
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		02	06	鶴喜小学校臨時管理費	05634

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			22,000			22,000	一般財源			22,000			22,000
合計	0	0	22,000	0	0	22,000	合計(A)	0	0	22,000	0	0	22,000
財源名称							従事正職員人数			1			1
							延べ業務事務時間			8			8
							人件費計(千円)(B)	0	0	27	0	0	27
	最終予算額	22,000 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)			22,027			22,027

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和5年度実施の鶴喜小学校大規模改修工事の実施設計委託料の経費であり、令和3年度から令和4年度に全額の繰り越しを行った。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		香々美小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05635	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	香々美小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	香々美小学校児童	→	ア	香々美小学校児童数	人	見込	42	43	40	53	53
						実績	42	43	40		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	42	43	40	53	53
						実績	42	43	40		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		75.5%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	07	香々美小学校経常管理費	05635

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	5,814	5,511	8,488	7,488	7,488	2,977	一般財源	5,514	5,279	8,175	7,488	7,488	2,896
合計	5,814	5,511	8,488	7,488	7,488	2,977	合計(A)	5,514	5,279	8,175	7,488	7,488	2,896
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	8,488 千円	予算執行率	96.3%			トータルコスト(A+B)	6,183	5,949	8,859	8,160	8,160	2,910

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		香々美小学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05636	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	遊具修繕（ブランコ） 特別支援教室増設工事	老朽化及び支援級の児童増

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	香々美小学校児童	ア　香々美小学校児童数	人	見込	42	43	40	53	
				実績	42	43	40		
イ		イ		見込					
				実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	42	43	40	53	
				実績	42	43	40		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ		イ		目標					
				実績					
				達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	撤去工事	ア　撤去工事	回	目標			1		
				実績			1		
				達成率			100.0%		#DIV/0!
イ	増設工事	イ　増設工事	回	目標			1		
				実績			1		
				達成率			100.0%		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		02	08	香々美小学校臨時管理費	05636

予算（千円）	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算（千円）	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			2,218			2,218	一般財源			2,217			2,217
合計	0	0	2,218	0	0	2,218	合計(A)	0	0	2,217	0	0	2,217
財源名称							従事正職員人数			1			1
							延べ業務事務時間			100			100
							人件費計(千円)(B)	0	0	342	0	0	342
	最終予算額	2,218 千円	予算執行率	99.9%			トータルコスト(A+B)			2,559			2,559

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	遊具点検により指摘があった個所の修繕が行えた。 特別支援学級の児童の受け入れ場所の確保が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		香北小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05637	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	香北小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	香北小学校児童	→	ア 香北小学校児童数	人	見込	11	14	15	0	0
					実績	11	14	15		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア 良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	11	14	15	0	0
					実績	11	14	15		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア 予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	0	0
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	支出決議書等の点検	→	イ 支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	09	香北小学校経常管理費	05637

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	4,432	3,795	3,374	1,952	1,952	−421	一般財源	3,999	3,466	2,870	1,952	1,952	−596
合計	4,432	3,795	3,374	1,952	1,952	−421	合計(A)	3,999	3,466	2,870	1,952	1,952	−596
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	2	2	
							延べ業務事務時間	200	200	200	100	100	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	336	336	14
	最終予算額	3,374 千円	予算執行率	85.0%			トータルコスト(A+B)	4,668	4,136	3,554	2,288	2,288	−582

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		奥津小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05638	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	奥津小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	奥津小学校児童	→	ア　奥津小学校児童数	人	見込	54	52	44	50	50
					実績	54	52	41		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	54	52	44	50	50
					実績	54	52	41		
					達成率	100.0%	100.0%	93.2%		82.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア　予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ　支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	11	奥津小学校経常管理費	05638

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	6,133	5,938	7,204	7,989	7,989	1,266	一般財源	5,905	5,920	6,849	7,989	7,989	929
合計	6,133	5,938	7,204	7,989	7,989	1,266	合計(A)	5,905	5,920	6,849	7,989	7,989	929
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	7,204 千円	予算執行率	95.0%			トータルコスト(A+B)	6,574	6,590	7,533	8,661	8,661	943

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		上齋原小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05639	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	上齋原小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等 令和2年度からは、休校のため、施設管理も行う。	平成17年合併と同時に開始 令和2年度から休校

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	上齋原小学校	ア　上齋原小学校施設数	施設	見込	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1		
イ		イ		見込					
				実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	施設の維持管理をする	ア　維持管理できた施設数	施設	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		イ		目標					
				実績					
				達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	施設管理をする	ア　施設管理をした月数	月	目標	12	12	12	12	12
				実績	12	12	12		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		イ		目標					
				実績			12		
				達成率			#VALUE!		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	13	上齋原小学校経常管理費	05639

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	4,511	1,911	2,021	2,060	2,060	110	一般財源	3,368	1,680	1,839	2,060	2,060	159
合計	4,511	1,911	2,021	2,060	2,060	110	合計(A)	3,368	1,680	1,839	2,060	2,060	159
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	2	2	
							延べ業務事務時間	200	200	200	100	100	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	336	336	14
	最終予算額	2,021 千円	予算執行率	90.9%			トータルコスト(A+B)	4,037	2,350	2,523	2,396	2,396	173

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		富小学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05641	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	富小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	富小学校児童	→	ア	富小学校児童数	人	見込	17	15	11	0	0
						実績	17	14	11		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	17	15	11	0	0
						実績	17	14	11		
						達成率	100.0%	93.3%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	0	0
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	02	15	富小学校経常管理費	05641

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	5,136	5,846	6,231	2,170	2,170	385	一般財源	4,576	5,812	5,672	2,170	2,170	−140
合計	5,136	5,846	6,231	2,170	2,170	385	合計(A)	4,576	5,812	5,672	2,170	2,170	−140
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	2	2	
							延べ業務事務時間	200	200	200	100	100	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	336	336	14
	最終予算額	6,231 千円	予算執行率	91.0%			トータルコスト(A+B)	5,245	6,482	6,356	2,506	2,506	−126

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		奥津小学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05642	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	学校内階段への手すり設置	足に障害がある児童がいるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	奥津小学校児童	→	ア　児童	人	見込			41		
					実績			41		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた児童数		目標			41		
					実績			41		
					達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	改修工事	→	ア　改修工事	回	目標			1		
					実績			1		
					達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		02	12	奥津小学校臨時管理費	05642

予算（千円）	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算（千円）	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			248			248	一般財源			247			247
合計	0	0	248	0	0	248	合計(A)	0	0	247	0	0	247
財源名称							従事正職員人数			1			1
							延べ業務事務時間			100			100
							人件費計(千円)(B)	0	0	342	0	0	342
	最終予算額	248 千円	予算執行率	99.5%			トータルコスト(A+B)			589			589

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	手すりを設置したことにより階段の上り下りの危険が減少できる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		大野小学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05644	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	令和5年度に特別支援学級が増えるため教室を整備した	令和5年度特別支援児童が増となるため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	大野小学校児童	→	ア	大野小学校児童	人	見込			181		
						実績			181		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標			181		
						実績			181		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標			6		
						実績			6		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		学校管理費		02	04	大野小学校臨時管理費	05644

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			987			987	一般財源			858			858
合計	0	0	987	0	0	987	合計(A)	0	0	858	0	0	858
財源名称							従事正職員人数			4			4
							延べ業務事務時間			100			100
							人件費計(千円)(B)	0	0	342	0	0	342
	最終予算額	987 千円	予算執行率	86.9%			トータルコスト(A+B)			1,200			1,200

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	特別支援学級としての整備が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		スクールバス経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05645	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥　博之
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町通学用自動車条例(条例第117号)鏡野町通学用自動		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 (　　年度～　　年度) □　単年度のみ	・遠距離通学児童が安全に登下校ができるよう、小学校スクールバス(鏡野4台、奥津3台、富1台)の運行及び維持管理に関する業務。 ※R2.9月～コロナ禍過密乗車対策のため一部車両入替え。 ・毎月の諸経費の支払、年間委託契約事務、車検等の手続き。 ・学校行事に伴う路線外使用許可事務。	南小学校スクールバスは芳野小学校と郷小学校が統合した年度より開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	スクールバス利用の小学児童	→	ア　利用児童数(実人員)	人	見込	98	98	76	102	102
					実績	98	79	92		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)			⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	安全な登下校をしてもらう	→	ア　不具合等で登下校に支障があった件数	件	目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ		→	イ　利用児童数(実人員)	人	目標	98	98	76	102	102
					実績	98	79	92		
					達成率	100.0%	80.6%	121.1%		90.2%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	維持管理事務	→	ア　運行回数(回／年)	回	目標	200	200	200	200	200
					実績	200	200	200		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	路線外使用許可事務	→	イ　路線外使用許可回数	回	目標	30	30	30	30	30
					実績	30	30	30		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 02	目 01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	03	01	スクールバス経常管理費	05645

予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	33,558	38,228	31,149	35,355	35,355	−7,079	一般財源	32,146	33,993	30,916	35,355	35,355	−3,077
合計	33,558	38,228	31,149	35,355	35,355	−7,079	合計(A)	32,146	33,993	30,916	35,355	35,355	−3,077
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	31,149 千円	予算執行率	99.2%			トータルコスト(A+B)	32,815	34,663	31,600	36,027	36,027	−3,063

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校スクールバス運転委託料等の経費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		スクールバス臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05646	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥　博之
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	香北小学校・富小学校が閉校になりスクールバス利用が必要となることや、鶴喜小スクールバスの老朽化による更新のためのバス購入費	香々美小香北線(29人乗り) 奥津小富線(14人乗り) 鶴喜小中谷線（14人乗り）

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	スクールバス利用の児童・生徒	→	ア　利用児童生徒数（実人員）	人	見込			36		
					実績			36		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	安全な登下校をしてもらう	→	ア　不具合等で登下校に支障があった件数	件	目標			0		
					実績			0		
					達成率			#DIV/0!		#DIV/0!
イ		→	イ　利用児童数（実人員）	人	目標			36		
					実績			36		
					達成率			100.0%		#DIV/0!

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	維持管理事務	→	ア　運行回数（回/年）	回	目標			100		
					実績					
					達成率					
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	03	02	スクールバス臨時管理費	05646

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			17,428			17,428	国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			1,040			1,040	一般財源			18,383			18,383
合計	0	0	18,468	0	0	18,468	合計(A)	0	0	18,383	0	0	18,383

財源名称				従事正職員人数			1			1
	電源立地地域対策交付金			延べ業務事務時間			200			200
				人件費計(千円)(B)	0	0	684	0	0	684
	最終予算額	18,468 千円	予算執行率 99.5%	トータルコスト(A+B)			19,067			19,067

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	スクールバス購入事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鶴喜小学校里山整備事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05655	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	鏡野町立鶴喜小学校 ・里山を活用した学習のため、田2，260㎡、山林13，450㎡を維持管理する ・草刈り等環境整備のための業務委託事務、遊歩道及び広場の維持管理、諸経費の支払事務等	平成20年度開始 ・里山の中で動植物とのふれあいを通じて自然の大切さ、すばらしさを体験する

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鶴喜小学校児童	ア 児童数	人	見込	101	95	89	94	94
				実績	92	95	89		
イ		イ		見込					
				実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	里山の中で動植物とのふれあいを通じて自然の大切さ、すばらしさを体験する	ア 里山の中で動植物とのふれあいを通じて自然の大切さ、すばらしさを体験できた児童数	人	目標	101	95	89	94	94
				実績	92	95	89		
				達成率	91.1%	100.0%	100.0%		94.7%
イ		イ		目標					
				実績					
				達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	委託料支払（委託団体）	ア 委託料支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		イ		目標					
				実績					
				達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	01				
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	05	01	鶴喜小学校里山整備事業費	05655

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	500	500	499	499	499	−1	一般財源	477	477	499	499	499	22
合計	500	500	499	499	499	−1	合計(A)	477	477	499	499	499	22
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	2	2	2	2	2	
							人件費計(千円)(B)	7	7	7	7	7	0
	最終予算額	499 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)	484	484	506	506	506	22

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	里山の環境が保たれている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　総合　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		小学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05671	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	黒瀬　豊
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	雇用契約書の作成、実績確認、賃金計算及び支払い、社会保険等手続き	合併時（学校開設時）から開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	小学校児童	→	ア	小学校児童数	人	見込	659	661	634	615	611
						実績	659	661	622		
イ	支援を必要とする児童	→	イ	支援を必要とする児童数	人	見込	38	42	55	51	51
						実績	38	42	55		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	支援の必要な児童生徒にきめ細かな指導を行う	→	ア	きめ細かな指導を受けることができた要支援児童数	人	目標	38	42	55	51	51
						実績	38	42	55		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		107.8%
イ	充実した授業を受けることができる	→	イ	充実した授業を受けることができた児童数	人	目標	659	661	622	615	611
						実績	659	661	622		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		101.8%

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	報酬の支払い	→	ア	報酬支払い回数	回	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					
ウ		→	ウ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 02	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	01	02	小学校支援教員配置事業	05671

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金	40,000	40,000	44,000	18,500	18,500	4,000	国庫支出金	40,000	40,000	43,965	18,500	18,500	3,965
県支出金		1,213	1,407	1,213	1,213	194	県支出金		1,362	998	1,213	1,213	-364
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	38,635	46,151	43,235	60,628	60,628	-2,916	一般財源	35,549	45,997	43,602	60,628	60,628	-2,395
合計	78,635	87,364	88,642	80,341	80,341	1,278	合計(A)	75,549	87,359	88,565	80,341	80,341	1,206

財源名称				従事正職員人数	1	1	1	1	1	
	電源立地地域対策交付金			延べ業務事務時間	60	60	100	100	100	40
				人件費計(千円)(B)	201	201	342	336	336	141
	最終予算額	88,642 千円	予算執行率 99.9%	トータルコスト(A+B)	75,750	87,560	88,907	80,677	80,677	1,347

1枚目

事業番号	05671	事務事業名	小学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
障害に応じた指導、日本語能力に課題のある児童生徒への指導、初任者研修や少人数指導のための基礎定数について改正や新設がなされた。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
国や県が定める定数に加えて町費で教員を配置することで、きめ細やかな指導ができるようにしてきた。
③この事務事業に対して、関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
一人一人の児童生徒に応じた指導を行ってほしい。

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由説明	この事業は「確かな学力と豊かな人間性を育む」ものであり、政策体系に、結びついている。
	②町が関与する妥当性（この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由説明	鏡野町の児童が充実した教育を受けられるようにすることは、学校設置者である町が行うべき事業である。
	③対象・意図の妥当性（事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由説明	対象は町立小学校の児童生徒であり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地（成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？）		
	☑ 向上余地がある □ 目標水準に達している	理由説明	教員一人一人の資質を向上させることでさらなる成果を上げることが可能である。
	⑤廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？）		
	□ 影響がない ☑ 影響がある	理由説明	支援を必要とする児童生徒や、各学校が抱える課題を解消するために必要な事業である、廃止・休止することはできない。
	⑥方法・手段の改善余地（やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？）		
	☑ 改善余地がある □ 改善余地がない	理由説明	各学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、成果をより向上させることができる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地（成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	教員の資質向上、事務の効率化、ICTの効果的な導入などにより、コストの削減は可能だが、削減しすぎることにより、成果を上げられず、適切な教育を受けることができない児童生徒が生じる懸念がある。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地（成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	事業を実施する職員の勤務時間等は適切であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地（事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由説明	受益者は、町立小中学校に通う児童・生徒全員であり、受益者負担は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括（振り返り・成果・反省点）・ 評価結果の根拠
A 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	教員一人一人の資質を向上させることでさらなる成果を上げることが可能である。 各学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、成果をより向上させることができる。
B 有効性	□ 適切	☑ 見直しの余地あり	
C 効率性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	
D 公平性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	

③今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		今後の改革改善案
□ 拡充	□ 現状維持	学校が示す支援員配置計画の妥当性を検証する。
□ 目的再設定	☑ 改善	
□ 休止・廃止	□ 事業完了	

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題
支援が必要な児童生徒に適切な支援が行えるよう配慮する必要がある。

④担当課としての事業の方針

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

（廃止・休止・事業完了の場合は記入不要）

2枚目

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		南小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05672	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	南小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	南小学校児童	→	ア	南小学校児童数	人	見込	276	267	245	240	240
						実績	276	264	244		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	276	267	267	240	240
						実績	276	264	244		
						達成率	100.0%	98.9%	91.4%		101.7%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	01	南小学校教育振興経常管理費	05672

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	3,567	2,160	2,648	2,109	2,109	488	一般財源	2,605	1,953	2,582	2,109	2,109	629
合計	3,567	2,160	2,648	2,109	2,109	488	合計(A)	2,605	1,953	2,582	2,109	2,109	629
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	2,648 千円	予算執行率	97.5%			トータルコスト(A+B)	3,274	2,623	3,266	2,781	2,781	643

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		大野小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05674	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	大野小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	大野小学校児童	→	ア	大野小学校児童数	人	見込	166	175	180	187	187
						実績	166	172	181		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができが児童数	人	目標	166	175	180	187	187
						実績	166	172	181		
						達成率	100.0%	98.3%	100.6%		96.8%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	03	大野小学校教育振興経常管理費	05674

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,651	1,657	1,853	1,729	1,729	196	一般財源	1,560	1,439	1,794	1,729	1,729	355
合計	1,651	1,657	1,853	1,729	1,729	196	合計(A)	1,560	1,439	1,794	1,729	1,729	355
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	1,853 千円	予算執行率	96.8%			トータルコスト(A+B)	2,229	2,109	2,478	2,401	2,401	369

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鶴喜小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05676	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	鶴喜小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鶴喜小学校児童	→	ア	鶴喜小学校児童数	人	見込	92	95	89	89	89
						実績	92	98	89		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができが児童数	人	目標	92	95	89	89	89
						実績	92	98	89		
						達成率	100.0%	103.2%	100.0%		100.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	05	鶴喜小学校教育振興経常管理費	05676

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,345	1,186	1,022	1,148	1,148	−164	一般財源	1,206	1,006	902	1,148	1,148	−104
合計	1,345	1,186	1,022	1,148	1,148	−164	合計(A)	1,206	1,006	902	1,148	1,148	−104
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	1,022 千円	予算執行率	88.2%			トータルコスト(A+B)	1,875	1,676	1,586	1,820	1,820	−90

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		香々美小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05678	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	香々美小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	香々美小学校児童	→	ア	香々美小学校児童数	人	見込	42	43	40	53	53
						実績	42	43	40		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができが児童数	人	目標	42	43	40	53	53
						実績	42	43	40		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		75.5%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	07	香々美小学校教育振興経常管理費	05678

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,095	823	1,076	1,101	1,011	253	一般財源	973	773	1,025	1,011	1,011	252
合計	1,095	823	1,076	1,101	1,011	253	合計(A)	973	773	1,025	1,011	1,011	252
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	1,076 千円	予算執行率	95.2%			トータルコスト(A+B)	1,642	1,443	1,709	1,683	1,683	266

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		香北小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05680	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	香北小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	香北小学校児童	→	ア	香北小学校児童数	人	見込	11	14	15	0	0
						実績	11	14	15		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができが児童数	人	目標	11	14	15	0	0
						実績	11	14	15		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	0	
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	0	
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	09	香北小学校教育振興経常管理費	05680

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	820	594	695			101	一般財源	705	493	524			31
合計	820	594	695	0	0	101	合計(A)	705	493	524	0	0	31
財源名称							従事正職員人数	3	3	3			
							延べ業務事務時間	200	200	200			
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	0	0	14
	最終予算額	695 千円	予算執行率	75.3%			トータルコスト(A+B)	1,374	1,163	1,208			45

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		奥津小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05682	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	奥津小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	奥津小学校児童	→	ア	奥津小学校児童数	人	見込	54	52	44	50	50
						実績	54	52	41		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができが児童数	人	目標	54	52	44	50	50
						実績	54	52	41		
						達成率	100.0%	100.0%	93.2%		82.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	11	奥津小学校教育振興経常管理費	05682

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,724	1,140	846	1,163	1,163	−294	一般財源	1,644	943	795	1,163	1,163	−148
合計	1,724	1,140	846	1,163	1,163	−294	合計(A)	1,644	943	795	1,163	1,163	−148
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	846 千円	予算執行率	93.9%			トータルコスト(A+B)	2,313	1,613	1,479	1,835	1,835	−134

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		富小学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05686	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	富小学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成17年合併と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	富小学校児童	→	ア	富小学校児童数	人	見込	17	15	11	0	0
						実績	17	14	11		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア	良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	17	15	11	0	0
						実績	17	14	11		
						達成率	100.0%	93.3%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア	予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	0	0
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	支出決議書等の点検	→	イ	支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	0	
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	02				
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	02	15	富小学校教育振興経常管理費	05686

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,027	588	673			85	一般財源	711	512	534			22
合計	1,027	588	673	0	0	85	合計(A)	711	512	534	0	0	22
財源名称							従事正職員人数	3	3	3			
							延べ業務事務時間	200	200	200			
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	0	0	14
	最終予算額	673 千円	予算執行率	79.3%			トータルコスト(A+B)	1,380	1,182	1,218			36

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（給食費）	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05690	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	・小学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業 ・認定、執行決裁事務	学校教育法19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町内小学校保護者	→	ア　要及び準要保護者数	人	見込	60	66	66	67	67
					実績	66	67	68		
イ	町内小学校保護者	→	イ　特別支援学級保護者数	人	見込	33	27	55	45	45
					実績	38	42	55		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	給食費を援助し、教育費の負担を軽減する	→	ア　教育費が軽減された保護者	人	目標	78	78	78	88	88
					実績	82	85	97		
					達成率	105.1%	109.0%	124.4%		110.2%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	申請受付、審査、認定事務	→	ア　受付、審査、認定回数	回	目標	10	7	7	15	15
					実績	7	10	16		
					達成率	70.0%	142.9%	228.6%		106.7%
イ	扶助費の執行事務	→	イ　扶助費の執行回数	回	目標	38	37	30	20	20
					実績	37	25	20		
					達成率	97.4%	67.6%	66.7%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01 一般会計	10 教育費	02 小学校費	02 教育振興費	03	01	準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（給食費）	05690

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金	140	140	140	647	647		国庫支出金	200	323	502	647	647	179
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	3,850	3,850	3,477	3,160	3,160	−373	一般財源	3,537	3,603	3,587	3,160	3,160	−16
合計	3,990	3,990	3,617	3,807	3,807	−373	合計(A)	3,737	3,926	4,089	3,807	3,807	163
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	40	40	40	40	40	
							人件費計(千円)(B)	134	134	137	134	134	3
	最終予算額	3,617 千円	予算執行率	113.0%			トータルコスト(A+B)	3,871	4,060	4,226	3,941	3,941	166

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（学用品費）	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05691	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	・小学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業 ・認定、執行決裁業務	学校教育法第19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町内小学校要・準要保護該当保護者	ア	要及び準要保護者数	人	見込	60	66	66	67	67
					実績	66	67	68		
イ	町内小学校特別支援学級利用児童保護者	イ	特別支援学級利用児童保護者数	人	見込	33	27	55	45	45
					実績	38	42	55		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	学用品費を援助し、教育費の負担を軽減する	ア	教育費が軽減された保護者数	人	目標	78	78	78	88	88
					実績	82	85	97		
					達成率	105.1%	109.0%	124.4%		110.2%
イ		イ			目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	申請受付、審査、認定事務	ア	受付、審査、認定回数	回	目標	10	7	7	15	15
					実績	7	10	16		
					達成率	70.0%	142.9%	228.6%		106.7%
イ	扶助費の執行事務	イ	扶助費の執行回数	回	目標	38	37	30	20	20
					実績	37	25	20		
					達成率	97.4%	67.6%	66.7%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）

属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01 一般会計	10 教育費	02 小学校費	02 教育振興費	03	02	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（学用品費）	05691

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金				474	474		国庫支出金	129			474	474	
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	2,301	2,690	2,215	2,347	2,347	−475	一般財源	2,072	1,723	2,215	2,347	2,347	492
合計	2,301	2,690	2,215	2,821	2,821	−475	合計(A)	2,201	1,723	2,215	2,821	2,821	492

財源名称				従事正職員人数	1	1	1	1	1	
	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金			延べ業務事務時間	40	40	40	40	40	
				人件費計(千円)(B)	134	134	137	134	134	3
	最終予算額	2,215 千円	予算執行率 100.0%	トータルコスト(A+B)	2,335	1,857	2,352	2,955	2,955	495

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　総合　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鏡野町教育研修事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05700	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	・教職員の教育実践力と職務能力の向上を図るため、鏡野町教育研修部会を開催・運営に関する事務を行なう。 ・幼児、国語、社会、算数、数学、理科、英語、生活総合、情報教育、事務等全14部会及び作文集「かがみのの子」、小学校社会科副読本編集の2つの編集部会から成っている。 ・各部会のとりまとめや日程調整、研修報告書作成、執行決裁事務など。	鏡野町教育研修会規則制定　平成17年4月1日 教職員の教育実践力と職務能力の向上を図り、鏡野町の教育の発展に寄与することを目的とする。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員	→	ア　教職員数	人	見込	173	180	180	180	180
					実績	173	175	183		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員の資質、能力の向上を図る	→	ア　資質・能力が向上した教職員数	人	目標	173	180	180	180	180
					実績	173	175	183		
					達成率	100.0%	97.2%	101.7%		101.7%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	研修等の開催	→	ア　研修に参加した延べ人数	人	目標				180	180
					実績					
					達成率					
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 02	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	05	01	鏡野町教育研修事業費	05700

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	640	2,452	657	875	875	−1,795	一般財源	499	2,445	560	875	875	−1,885
合計	640	2,452	657	875	875	−1,795	合計(A)	499	2,445	560	875	875	−1,885
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20	
							人件費計(千円)(B)	67	67	68	67	67	0
	最終予算額	657 千円	予算執行率	85.2%			トータルコスト(A+B)	566	2,512	628	942	942	−1,884

1枚目

事業番号	05700	事務事業名	鏡野町教育研修事業費	所管課名	学校教育課

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
研修や部会を行う事で学校間の連携が図れた。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
部会員だけではなく、他の部会の研修にも参加できるよう周知を広く行うようにしている、また研修会の日程が被らないよう、委員会で調整を行うようにした。
③この事務事業に対して、関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
鏡野町は、苫田郡に1町のみであり、他市町村のように複数市町村がないため、中学校が1校しかないことについて、中学校の実践交流が充分にできないという声がある。

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由説明	教職員の研修や部会を開催すること学校間の連携や個々の意識改革が行えた。
	②町が関与する妥当性（この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由説明	講師を招いての研修会が行えた。
	③対象・意図の妥当性（事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由説明	学校間の連携が行えた。
有効性評価	④成果の向上余地（成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？）		
	☑ 向上余地がある □ 目標水準に達している	理由説明	研修等行う事で個々の能力向上に繋がる。
	⑤廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？）		
	□ 影響がない ☑ 影響がある	理由説明	学校間の連携が図れなくなる。
	⑥方法・手段の改善余地（やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？）		
	☑ 改善余地がある □ 改善余地がない	理由説明	部会の日程調整など
効率性評価	⑦事業費の削減余地（成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	なし
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地（成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	なし
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地（事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由説明	なし

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括（振り返り・成果・反省点）・ 評価結果の根拠
A 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	研修等を行う事で教職員の意識改革に繋がる。
B 有効性	□ 適切	☑ 見直しの余地あり	
C 効率性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	
D 公平性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	

③今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		今後の改革改善案
□ 拡充	☑ 現状維持	研修等を充実させる。
□ 目的再設定	□ 改善	
□ 休止・廃止	□ 事業完了	

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題
特に無し

④担当課としての事業の方針

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・事業完了の場合は記入不要）

2枚目

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		情報機器整備事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05708	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	指導者用タブレットの整備	令和2年度より、GIGAスクール構想が進んでおり、児童用端末は、令和2年度に整備が完了したが、指導者用端末については、担任分整備が終了していないため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員	→	ア	教職員数	人	見込	173	180	180	169	169
						実績	173	180	180		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	児童と同じような環境を整えられている	→	ア	教員数に対する整備率	%	目標			80		
						実績			75		
						達成率			93.8%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	タブレットの導入数	→	ア	導入台数	台	目標			8		
						実績			8		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		小学校費		教育振興費		09	01	情報機器整備事業費	05708

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			211			211	国庫支出金			179			179
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			211			211	一般財源			230			230
合計	0	0	422	0	0	422	合計(A)	0	0	409	0	0	409

財源名称				従事正職員人数			1			1
	公立学校情報機器整備事業費補助金			延べ業務事務時間			20			20
				人件費計(千円)(B)	0	0	68	0	0	68
	最終予算額　422 千円	予算執行率	96.9%	トータルコスト(A+B)			477			477

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	タブレットの購入費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鏡野中学校経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05780	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	所属：学校教育課分 中学校校務員の賃金等の支払い、生徒の健康診断等の実施、化学物質検査、消火設備の点検・修理、教職員の健康診断、各種負担金の支払い等 所属：中学校分 中学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成28年度学校統合と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鏡野中学校生徒	→	ア　鏡野中学校生徒数	人	見込	313	313	343	321	321
					実績	313	313	348		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	良好な教育環境で教育を受ける	→	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた生徒数	人	目標	313	313	343	321	321
					実績	313	313	348		
					達成率	100.0%	100.0%	101.5%		108.4%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア　予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ　支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	03	01				
	一般会計	教育費	中学校費	学校管理費	02	01	鏡野中学校経常管理費	05780

予算（千円）	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算（千円）	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財	50	50	50				その他特財	29	14	44			30
一般財源	31,144	8,015	35,435	33,228	33,228	27,420	一般財源	29,263	27,098	33,393	33,228	33,228	6,295
合計	31,194	8,065	35,485	33,228	33,228	27,420	合計(A)	29,292	27,112	33,437	33,228	33,228	6,325

財源名称				従事正職員人数	4	4	3	3	3	−1
	中学校施設使用料			延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
				人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	35,485 千円	予算執行率 94.2%	トータルコスト(A+B)	29,961	27,782	34,121	33,900	33,900	6,339

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鏡野中学校臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05781	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	学校等における感染症対策支援事業	コロナ対策

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	中学校	→	ア	生徒	人	見込			348		
						実績			348		
イ		→	イ	教職員	人	見込			47		
						実績			47		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	感染症対策	→	ア	生徒	人	目標			348		
						実績			348		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ	教職員	人	目標			47		
						実績			47		
						達成率			100.0%		#DIV/0!

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	感染症対策	→	ア	中学校	人	目標			1		
						実績			1		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		学校管理費		02	02	鏡野中学校臨時管理費	05781

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			675			675	国庫支出金			673			673
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財						#VALUE!	その他特財						#VALUE!
一般財源			1,457			1,457	一般財源			1,439			1,439
合計	0	0	2,132	0	0	2,132	合計(A)	0	0	2,112	0	0	2,112

財源名称					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比
	学校保健特別対策事業費補助金			従事正職員人数			1			1
				延べ業務事務時間			100			100
				人件費計(千円)(B)	0	0	342	0	0	342
	最終予算額	2,132 千円	予算執行率 99.0%	トータルコスト(A+B)			2,454			2,454

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	生徒及び教職員の感染症対策が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		スクールバス経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05790	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	奥 博之
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町通学用自動車条例(条例第117号)鏡野町通学用自動		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 (　　年度～　　年度) □　単年度のみ	・遠距離通学生徒が安全に登下校ができるよう、中学校スクールバス(鏡野2台、上齋原、奥津6台、富2台)の運行及び維持管理に関する業務。 ※R2.9月～コロナ禍過密乗車対策のため一部車両入替え。 ・毎月の諸経費の支払、年間委託契約事務、車検等の手続き。 ・学校行事に伴う路線外使用許可事務。	町内中学校開設時。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	スクールバス利用の中学生徒	→	ア　利用生徒数(実人員)	人	見込	62	62	62	62	62
					実績	62	55	65		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)			⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	遠距離通学生徒に安全な登下校をしてもらう	→	ア　不具合等で登下校に支障があった件数	件	目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ		→	イ　安全な登下校ができた遠距離通学生徒数	人	目標	62	62	62	62	
					実績	62	55	65		
					達成率	100.0%	88.7%	104.8%		#DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	維持管理事務	→	ア　運行回数(回／年)	回	目標	190	190	190	190	190
					実績	190	190	190		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	路線外使用許可事務	→	イ　路線外使用許可回数	回	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	03	01				
	一般会計	教育費	中学校費	学校管理費	03	01	スクールバス経常管理費	05790

予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金			5,039			5,039
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	48,282	52,383	50,794	57,073	57,073	−1,589	一般財源	47,080	50,631	45,634	57,073	57,073	−4,997
合計	48,282	52,383	50,794	57,073	57,073	−1,589	合計(A)	47,080	50,631	50,673	57,073	57,073	42

財源名称				従事正職員人数	1	1	1	1	1	
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
				人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	50,794 千円	予算執行率 99.7%	トータルコスト(A+B)	47,749	51,301	51,357	57,745	57,745	56

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校スクールバス運転委託料等の経費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　総合　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		中学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05821	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	黒瀬　豊
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	実績確認・報告、予算計上	合併時（学校開設時）から開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	中学校生徒	→	ア	中学校生徒数	人	見込	313	313	325	327	313
						実績	313	313	344		
イ	支援を必要とする生徒	→	イ	支援を必要とする生徒数	人	見込	18	20	25	24	24
						実績	18	20	25		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	支援の必要な児童生徒にきめ細かな指導を行う	→	ア	きめ細かな指導を受けることができた要支援生徒数	人	目標	18	20	25	24	24
						実績	18	20	25		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		104.2%
イ	充実した授業を受けることができる	→	イ	充実した授業を受けることができた生徒数	人	目標	313	313	313	313	
						実績	313	313			
						達成率	100.0%	100.0%			

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	報酬の支払い	→	ア	報酬支払回数	回	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					
ウ		→	ウ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 03	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計	教育費	中学校費	教育振興費	01	02	中学校支援教員配置事業	05821

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金	20,000	16,000	16,400	6,500	6,500	400	国庫支出金	20,000	16,000	16,359	6,500	6,500	359
県支出金	672	1,407	1,407	735	735		県支出金	672	1,299	1,185	735	735	−114
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	15,503	26,807	24,253	36,565	36,565	−2,554	一般財源	14,363	26,252	19,295	36,565	36,565	−6,957
合計	36,175	44,214	42,060	43,800	43,800	−2,154	合計(A)	35,035	43,551	36,839	43,800	43,800	−6,712

財源名称				従事正職員人数	1	1	1	1	1	
	電源立地地域対策交付金			延べ業務事務時間	60	60	80	80	80	20
	部活動指導員配置事業補助金			人件費計(千円)(B)	201	201	274	269	269	73
	最終予算額	42,060 千円	予算執行率 87.5%	トータルコスト(A+B)	35,236	43,752	37,113	44,069	44,069	−6,639

1枚目

事業番号	05821	事務事業名	中学校支援教員配置事業	所管課名	学校教育課

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
障害に応じた指導、日本語能力に課題のある児童生徒への指導、初任者研修や少人数指導のための基礎定数について改正や新設がなされた。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
国や県が定める定数に加えて町費で教員を配置することで、きめ細やかな指導ができるようにしてきた。
③この事務事業に対して、関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
一人一人の児童生徒に応じた指導を行ってほしい。

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由説明	この事業は「確かな学力と豊かな人間性を育む」ものであり、政策体系に、結びついている。
	②町が関与する妥当性（この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由説明	鏡野町の児童生徒が充実した教育を受けられるようにすることは、学校設置者である町が行うべき事業である。
	③対象・意図の妥当性（事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由説明	対象は町立小中学校の児童生徒であり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地（成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？）		
	☑ 向上余地がある □ 目標水準に達している	理由説明	教員一人一人の資質を向上させることで成果を向上させることができる。
	⑤廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？）		
	☑ 影響がない □ 影響がある	理由説明	支援を必要とする児童生徒や、各学校が抱える課題を解消するために必要な事業である、廃止・休止することはできない。
	⑥方法・手段の改善余地（やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？）		
	☑ 改善余地がある □ 改善余地がない	理由説明	学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、さらに成果を向上させることができる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地（成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	教員の資質向上、事務の効率化、ICTの効果的な導入などにより、コストの削減は可能だが、削減しすぎることにより、成果を上げられず、適切な教育を受けることができない児童生徒が生じる懸念がある。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地（成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか？）		
	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由説明	事業を実施する職員の勤務時間等は適切で削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地（事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？）		
	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由説明	受益者は、町立中学校に通う生徒全員であり、受益者負担は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括（振り返り・成果・反省点）・ 評価結果の根拠
A 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	教員一人一人の資質を向上させることで成果を向上させることができる。 学校でそれぞれ工夫や取り組みを行うことで、さらに成果を向上させることができる。
B 有効性	□ 適切	☑ 見直しの余地あり	
C 効率性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	
D 公平性	☑ 適切	□ 見直しの余地あり	

③今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		今後の改革改善案
□ 拡充	☑ 現状維持	教員の資質のさらなる向上を目指し、業務の効率化、ICT化を進める。
□ 目的再設定	☑ 改善	
□ 休止・廃止	□ 事業完了	

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題
特に無し

④担当課としての事業の方針

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

（廃止・休止・事業完了の場合は記入不要）

2枚目

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鏡野中学校教育振興経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05825	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	鏡野中学校に関する各種支出の内容点検、決裁、予算内容の点検等	平成28年度学校統合と同時に開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鏡野中学校生徒	→	ア　鏡野中学校生徒数	人	見込	313	313	343	321	321
					実績	313	313	348		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員の資質向上や備品等の整備により良好な教育環境で教育を受ける	→	ア　良好な教育環境で教育を受けることができた児童数	人	目標	313	313	343	321	321
					実績	313	313	348		
					達成率	100.0%	100.0%	101.5%		108.4%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	予算に関する協議	→	ア　予算に関する協議を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	支出決議書等の点検	→	イ　支出決議書の点検を行った月数	月	目標	12	12	12	12	12
					実績	12	12	12		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	03	02				
	一般会計	教育費	中学校費	教育振興費	02	01	鏡野中学校教育振興経常管理費	05825

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財		1,714	1,697			−17
一般財源	8,724	7,327	7,666	7,350	7,350	339	一般財源	7,936	5,448	5,642	7,350	7,350	194
合計	8,724	7,327	7,666	7,350	7,350	339	合計(A)	7,936	7,162	7,339	7,350	7,350	177
財源名称							従事正職員人数	3	3	3	3	3	
							延べ業務事務時間	200	200	200	200	200	
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14
	最終予算額	7,666 千円	予算執行率	95.7%			トータルコスト(A+B)	8,605	7,832	8,023	8,022	8,022	191

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校運営に係る予算であり、適切な予算執行が行えている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（給食費）	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05830	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	・中学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業 ・認定、執行決裁事務	学校教育法第19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町内中学校保護者	→	ア　要及び準要保護者数	人	見込	38	39	39	35	35
					実績	39	29	37		
イ	町内中学校保護者	→	イ　特別支援学級保護者数	人	見込	9	10	25	21	21
					実績	18	21	25		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	給食費を援助し、教育費の負担を軽減する	→	ア　教育費が軽減された保護者数	人	目標	47	44	44	43	43
					実績	44	39	46		
					達成率	93.6%	88.6%	104.5%		107.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	申請受付、審査、認定事務	→	ア　受付、審査、認定回数	回	目標	6	7	7	15	15
					実績	7	7	16		
					達成率	116.7%	100.0%	228.6%		106.7%
イ	扶助費の執行事務	→	イ　扶助費の執行回数	回	目標	10	8	8	20	20
					実績	8	7	20		
					達成率	80.0%	87.5%	250.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）

	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01 一般会計	10 教育費	03 中学校費	02 教育振興費	03	01	準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（給食費）	05830

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金	110	110	110	221	221		国庫支出金	64	212	158	221	221	-54
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	2,541	2,541	2,128	2,253	2,253	-413	一般財源	2,036	1,620	1,868	2,253	2,253	248
合計	2,651	2,651	2,238	2,474	2,474	-413	合計(A)	2,100	1,832	2,026	2,474	2,474	194
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	40	40	40	40	40	
							人件費計(千円)(B)	134	134	137	134	134	3
	最終予算額	2,238 千円	予算執行率	90.5%			トータルコスト(A+B)	2,234	1,966	2,163	2,608	2,608	197

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に給食費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（学用品費）	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05831	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	・中学校の要及び準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業 ・認定、執行決済事務	学校教育法第19条

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	中学校の要及び準要保護者	→	ア　要及び準要保護者数	人	見込	38	39	39	35	35
					実績	39	29	37		
イ	中学校の特別支援学級の保護者	→	イ　特別支援学級保護者数	人	見込	9	10	25	21	21
					実績	18	21	25		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	学用品費を援助し、教育費の負担を軽減する	→	ア　教育費が軽減された保護者数	人	目標	47	44	44	43	43
					実績	44	39	46		
					達成率	93.6%	88.6%	104.5%		107.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	申請受付、審査、認定事務	→	ア　受付、審査、認定回数	回	目標	6	7	7	15	15
					実績	7	7	16		
					達成率	116.7%	100.0%	228.6%		106.7%
イ	扶助費の執行事務	→	イ　扶助費の執行回数	回	目標	10	8	8	20	20
					実績	8	7	20		
					達成率	80.0%	87.5%	250.0%		100.0%

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	03	02				
	一般会計	教育費	中学校費	教育振興費	03	02	要及び準要保護援助費及び特別支援教育就学奨励費（学用品費）	05831

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			110	244	244	110	国庫支出金	49			244	244	
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	3,107	3,726	2,828	3,000	3,000	−898	一般財源	1,746	1,828	1,801	3,000	3,000	−27
合計	3,107	3,726	2,938	3,244	3,244	−788	合計(A)	1,795	1,828	1,801	3,244	3,244	−27
財源名称	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	40	40	40	40	40	
							人件費計(千円)(B)	134	134	137	134	134	3
	最終予算額	2,938 千円	予算執行率	61.3%			トータルコスト(A+B)	1,929	1,962	1,938	3,378	3,378	−24

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	中学校の要・準要保護、特別支援学級の保護者に学用品費を援助する事業が適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		外国青年招致事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05835	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	中学校学習指導要領		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し ☑　期間限定複数年度 （ 4 年度～ 6 年度） □　単年度のみ	委託業者との契約締結、実績の確認、委託料の支払い	合併により新町が発足したときから行っている事業である。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	中学校生徒	→	ア	中学校生徒数	人	見込	313	313	319	321	321
						実績	313	313	344		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	英語に親しみ、英語力を向上させる	→	ア	英語に親しみ、英語力を向上させることができた生徒数	人	目標	313	313	319	321	321
						実績	313	313	344		
						達成率	100.0%	100.0%	107.8%		107.2%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	委託料の支払い	→	ア	委託料支払い回数	回	目標	12	12	12	12	12
						実績	12	12	12		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	03	02				
	一般会計	教育費	中学校費	教育振興費	04	01	外国青年招致事業費	05835

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源	5,390	5,390	5,880	5,880	5,880	490	一般財源	5,390	5,390	5,390	5,880	5,880	
合計	5,390	5,390	5,880	5,880	5,880	490	合計(A)	5,390	5,390	5,390	5,880	5,880	0
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	5	15	20	20	40	5
							人件費計(千円)(B)	17	50	68	67	134	18
	最終予算額	5,880 千円	予算執行率	91.6%			トータルコスト(A+B)	5,407	5,440	5,458	5,947	6,014	18

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	外国青年招致事業費として中学校に英語講師を適正に配置できた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		情報機器整備事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05855	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	澤山　千明
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	指導者用タブレットの整備	令和2年度より、GIGAスクール構想が進んでおり、児童用端末は、令和2年度に整備が完了したが、指導者用端末については、担任分整備が終了していないため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	教職員	→	ア	教職員数	人	見込	173	180	180	169	169
						実績	173	180	180		
イ		→	イ			見込					
						実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	児童と同じような環境を整えられている	→	ア	教員数に対する整備率	%	目標			90		
						実績			86		
						達成率			96.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	タブレットの導入数	→	ア	導入台数	台	目標			11		
						実績			11		
						達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	03	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		中学校費		教育振興費		12	01	情報機器整備事業費	05855

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			290			290	国庫支出金			248			248
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			290			290	一般財源			315			315
合計	0	0	580	0	0	580	合計(A)	0	0	563	0	0	563

財源名称				従事正職員人数			1			1
	公立学校情報機器整備事業費補助金			延べ業務事務時間			20			20
				人件費計(千円)(B)	0	0	68	0	0	68
	最終予算額　580 千円	予算執行率	97.0%	トータルコスト(A+B)			631			631

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	タブレットの購入費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鏡野学校給食共同調理場経常管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
06655	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	難波　五八
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町学校給食共同調理場設置条例 鏡野町学校給食共同調理場管理運営規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
☑ 単年度繰返し □ 期間限定複数年度 （　年度～　年度） □ 単年度のみ	①調理場の施設管理を行う。 ②修繕等があれば、見積もりを徴収する。 ③業者に発注、支払をする。 ④給食費の徴収 ⑤給食物資の支払 ※調理等業務委託に関する調整、契約等	昭和50年4月、鏡野町学校給食共同調理場として開設、旧鏡野町内の小中学校10校に配食。平成10年6月、改築により現建屋において小学校5校中学校1校に配食。 平成21年4月、調理場の統合により幼稚園1園、小学校8校、中学校4校に配食を始める。平成28年4月中学校統合により、中学校1校となった。給

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	児童生徒	→	ア	児童生徒数	人	見込	974	977	964	971	970
						実績	974	964	971		
イ	教職員	→	イ	教職員数	人	見込	173	175	178	170	170
						実績	173	178	170		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	安全で美味しい給食を提供する	→	ア	安全で美味しい給食を提供された児童生徒数	人	目標	974	977	964	971	971
						実績	974	964	971		
						達成率	100.0%	98.7%	100.7%		100.0%
イ		→	イ	安全で美味しい給食を提供された教職員数	人	目標	173	175	178	170	170
						実績	173	178	170		
						達成率	100.0%	101.7%	95.5%		100.0%

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	給食を提供する。	→	ア	給食数	食	目標	205,000	208,000	210,000	204,000	204,000
						実績	208,065	210,032	203,883		
						達成率	101.5%	101.0%	97.1%		99.9%
イ		→	イ			目標					
						実績					
						達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	07	目	04	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		学校給食共同調理場費		02	01	鏡野学校給食共同調理場経常管理費	06655

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			5,361			5,361	国庫支出金			5,079			5,079
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財	64,617	65,739	66,061	64,513	64,513	322	その他特財	59,919	60,696	59,160	64,513	64,513	−1,536
一般財源	82,173	81,702	87,051	96,955	96,955	5,349	一般財源	85,410	83,469	86,456	96,955	96,955	2,987
合計	146,790	147,441	158,473	161,468	161,468	11,032	合計(A)	145,329	144,165	150,695	161,468	161,468	6,530

財源名称				従事正職員人数	1	1	1	1	1	
	学校給食材料費負担金			延べ業務事務時間	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
	学校給食材料費負担金			人件費計(千円)(B)	6,017	6,030	6,158	6,052	6,052	128
	学校給食共同調理場雑入、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			トータルコスト(A+B)	151,346	150,195	156,853	167,520	167,520	6,658
	最終予算額　158,473 千円	予算執行率	95.0%							

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	学校給食に関する食材費や給食業務委託料等の経費であり、適正に事業が行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		鏡野学校給食共同調理場臨時管理費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
06656	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	難波　五八
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等	鏡野町学校給食共同調理場設置条例 鏡野町学校給食共同調理場管理運営規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	システム食器洗浄機・トレー洗浄機オーバーホール	システム食器洗浄機・トレー洗浄機は、設置して24年を経過しており経年劣化により不具合があるためオーバーホールを行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）			④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	児童生徒	→	ア　児童生徒数	人	見込	974	977	964	971	971
					実績	974	964	971		
イ	教職員	→	イ　教職員数	人	見込	173	175	178	170	170
					実績	173	178	170		

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）			⑤成果指標（意図の達成度）	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	安全で美味しい給食を提供する	→	ア　安全で美味しい給食を提供された児童生徒数	人	目標	974	977	964	971	971
					実績	974	964	971		
					達成率	100.0%	98.7%	100.7%		100.0%
イ		→	イ　安全で美味しい給食を提供された教職員数	人	目標	974	175	178	170	170
					実績	974	178	170		
					達成率	100.0%	101.7%	95.5%		100.0%

③活動（そのためにどんな活動をするのか）			⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	給食を提供する	→	ア　給食数	食	目標	205,000	208,000	210,000	204,000	204,000
					実績	208,065	210,032	203,883		
					達成率	101.5%	101.0%	97.1%		99.9%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
	属する施策の対象		属する施策の意図
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	07	04				
	一般会計	教育費	保健体育費	学校給食共同調理場費	02	02	鏡野学校給食共同調理場臨時管理費	06656

予算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金			15,380			15,380	国庫支出金			14,988			14,988
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			1,120			1,120	一般財源			1,501			1,501
合計	0	0	16,500	0	0	16,500	合計(A)	0	0	16,489	0	0	16,489

財源名称					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比
	地方創生臨時交付金			従事正職員人数			1			1
				延べ業務事務時間			60			60
				人件費計(千円)(B)	0	0	205	0	0	205
	最終予算額	16,500 千円	予算執行率 99.9%	トータルコスト(A+B)			16,694			16,694

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	システム食缶洗浄機・トレー洗浄機のオーバーホールが適正に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

令和　4　年度　事後評価・決算　**事務事業マネジメントシート**　簡易　令和5年11月　作成

事業番号	事務事業名		小学校統合整備事業費	所管課名	学校教育課	令和　4　年度課長名	黒瀬　豊
05764	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田　篤志
	施策名	31	学校教育の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容（具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する）	③開始したきっかけ（いつ頃、どんな経緯で）
□　単年度繰返し □　期間限定複数年度 （　　年度～　　年度） ☑　単年度のみ	令和4年度末で閉校した、香北小・上齋原小・富小の閉校に係る経費	児童減少による閉校

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象（誰、何を対象にしているのか）		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	閉校小学校	ア	児童	人	見込			26		
					実績			26		
イ		イ			見込					
					実績					

②意図（対象をどのような状態にしたいのか）		⑤成果指標（意図の達成度）		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	統合先への編入	ア	児童	人	目標			26		
					実績			26		
					達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		イ			目標					
					実績					
					達成率					

③活動（そのためにどんな活動をするのか）		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	閉校記念行事	ア	式典他	回	目標			1		
					実績			1		
					達成率			100.0%		#DIV/0!
イ		イ			目標					
					実績					
					達成率					

⇓

⑦結果（事務事業を何に結び付けるのか）			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の義務教育課程の児童・生徒	ア	調和のとれた人材に育ってもらう
イ		イ	確かな学力と豊かな人間性を育んでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号
	01	10	02	03				
	一般会計	教育費	小学校費	小学校建設費	04	12	小学校統合整備事業費	05764

予算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算（千円）	2 年度 実 績	3 年度 実 績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町　債							町　債						
その他特財							その他特財						
一般財源			8,150			8,150	一般財源			8,123			8,123
合計	0	0	8,150	0	0	8,150	合計(A)	0	0	8,123	0	0	8,123
財源名称							従事正職員人数			1			1
							延べ業務事務時間			200			200
							人件費計(千円)(B)	0	0	684	0	0	684
	最終予算額	8,150 千円	予算執行率	99.6%			トータルコスト(A+B)			8,807			8,807

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括（成果・反省点）、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	閉校行事についてスムーズに行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	